

## 情報公開用文書 ( 附属市民総合医療センターで実施する医学系研究 )

( 多施設共同研究用 )

西暦 2024 年 3 月 13 日作成 第 4 版

研究課題名	大腿骨寛骨臼インピンジメントにおける骨盤の 3 次元的動態と股関節可動域に関する後ろ向き前向きコホート研究
研究の対象	2014 年 4 月 ~ 2022 年 8 月の間に、横浜市立大学附属市民総合医療センター ( 2019 年 4 月 ~ 2022 年 8 月 ) および横浜市立大学附属病院 ( 2014 年 4 月 ~ 2019 年 3 月 ) において大腿骨寛骨臼インピンジメントに対する関節鏡視下 cam 切除術を受けた患者さんを対象とします。
研究目的 ・方法	骨盤の 3 次元的動態が股関節可動域改善への程度影響するかについて、コンピューターシミュレーションを用いて計測し、統計学的に評価します。
研究期間	西暦 2020 年 11 月 24 日 ( 承認日 ) ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	手術前下記の情報を、診療録から収集します。 ・術前 CT 画像 ・年齢、性別などの基本情報、初診時の臨床所見 ・単純 X 線像による特徴的所見、関節症性変化の有無
外部への 試料・情報の 提供	特になし
外部からの 試料・情報の 取得と保管	横浜市立大学附属病院において大腿骨寛骨臼インピンジメントに対する関節鏡視下 cam 切除術を受けた患者さんの診療録より、手術前の上記情報を収集します。横浜市立大学附属病院で個人を特定できないように匿名化し、データにパスワードをかけて提供を受けます。 当院に集積したデータは、整形外科医局内で院内 LAN やインターネットに接続されていない独立したコンピューター端末でパスワードをかけ保管し、紙で保管する場合は、ファイルに綴じて施錠できる書棚で厳重に管理し、本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう保管します。 少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれか遅い日までの期間保管し、その後復元できない方法で廃棄します。
研究組織	横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科 横浜市立大学附属病院 整形外科

## 情報公開用文書(附属市民総合医療センターで実施する医学系研究)

(多施設共同研究用)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 整形外科(研究責任者) 東平 翔太

電話番号：045-261-5656(代表) FAX：045-252-7470